

協同の力でいのち輝く社会をつくる

中部協同病院

地域医療・介護を支え33年

中部協同病院は1987年4月1日に開院し、今年で33年を迎えることができました。これもひとえに、地域組合員の皆様に温かく受け入れて頂き、支援していただいたおかげだと思っております。

当時、中部地域には診療所を建設することが決まっていたのを地域組合員や理事、職員などの要望で沖縄医療生協の2番目の病院として開設することが出来たと聞いています。

この間、様々な困難を乗り越え医療機能や施設の拡大を図り、地域の医療機関や介護事業と連携を強化してきました。また、無料・低額診療事業などをはじめ、無差別平等の医療・介護を実践してきました。組合員数や支部数も着実に広がり「健康をつくる。平和をつくる。いのち輝く社会をつくる。」の医療生協の理念のもと中部地域の健康づくり・まちづくり運動の拠点として役割を發揮しています。



中部協同病院は、建物の老朽化や今後の医療活動を見据えて新病院を同じ場所に建築いたしました。

新中部協同病院では、個室率を高くし感染症や看取りにも幅広く対応できるように設計いたしました。今後も地域組合員をはじめ、地域住民の期待に応えられるよう医療・介護を通して人々の支えになる病院として貢献して行きたいと思えます。

民医連がめざす

地域包括ケアシステム

2019年12月「日新中部協同病院へ移転し、新たな医

療活動・介護活動を展開しています。民医連がめざす地域包括ケアシステム「いつでも、どこでも、だれでも」住み慣れた地域で、医療・保険・福祉が切れ目なく保障される「無差別・平等の地域包括ケア」を目指します。

政府が推し進める国にとって安上がりで効率的な医療・介護ではなく、地域に寄り添う地域包括ケアシステムを構築します。そのために担う役割を認識し住宅医療、及び外来・入院医療の前進をめざします。特に入院においては、今後、軽中度の救急患者を地域包括ケア病棟（病床）で受けることが通常になると言われています。これまで以上に、急性期病院や在宅・介護施設からの患者の受け入れを行い、継続的なりハビリ治療で早期に在宅復帰や社会復帰に繋げる役割を担っていきます。

「安心してくらせる健康まちづくり」を地域と一緒に！

★保険予防

- ・ 特定健診の実施
- ・ 組合員対象の「健康づくり健診」の実施

★医療

- ・ 病院、在宅医療など、ネットワークを活かしたサービスを提供します。
- ・ 「差額ベッド料」はいただき

★保険予防

- ・ 特定健診の実施
- ・ 組合員対象の「健康づくり健診」の実施

★医療

- ・ 病院、在宅医療など、ネットワークを活かしたサービスを提供します。
- ・ 「差額ベッド料」はいただきません。

- ・ 無料低額診療（医療費を減免、免除する制度）を行っています。

★介護

- ・ デイケア、訪問診療などで在宅生活をサポートします。
- ・ 誰もがその人らしくすごせる地域包括ケアをすすめます。

中部協同病院

事務長 嘉数浩明





—生命—

いのちは あつまり
 それぞれに かがやき なごみ
 やがて おおきな生命へと つながる
 40億年の原初の奇跡をおもう
 今にボクは生きている
 だから明日も生きる
 楽しからずや
 姉齒 公也 (造形作家) 2019年 制作

ユニット間のスペースを広くとることによって、車いす等の方がスムーズに移乗が行えるようになり、患者さんにも喜ばれています。
 (安慶名 つや子)



明るく開放的な待合室。
 診察の待ち時間も気持ちよく過ごしてもらっています。
 (名嘉 清美)



当院の院長である与儀洋和先生。地域の皆さんが気軽に来院していただけるよう、和らいだ雰囲気作りを心がけています。
 (名嘉 清美)

